

2012年11月21日

私有スマートフォンやフィーチャーフォンの 業務利用を推進する BYOD 向け電話サービス 「050 plus W-mode」の提供開始について

NTT コミュニケーションズ(略称:NTT Com)は、スマートフォンで利用できる企業向け 050IP 電話サービス「050 plus for Biz」において、私有の携帯電話を業務に活用する BYOD(Bring Your Own Device)に最適な「W-mode オプション」(略称:050 plus W-mode)を、2012年11月21日より提供開始します。

本サービスでは、スマートフォンやフィーチャーフォン*などの端末種別を問わず、ビジネス通話料金とプライベート通話料金の公私分計が可能で、ビジネス通話を発信する際に 050 番号を相手に通知するため、通話料金精算処理の簡素化に加え、社員のプライバシーにも配慮した BYOD 導入を実現できます。

* スマートフォン以外で、通話機能を主体とした従来型携帯電話端末。

1.背景

現在、多くの企業において BYOD を活用したコスト削減や生産性向上、ワークスタイルの変革のニーズが高まっています。一方、私有の携帯電話を業務で利用する場合、ビジネス通話料金の精算処理が煩雑になり、また、私有携帯の電話番号がビジネス通話の相手に通知されるといった課題があります。

NTT Com では、このような課題を解決するため、「050 plus for Biz」の機能を拡充した新たな BYOD ソリューションを提供します。

2.サービスの特長(別紙参照)

(1)スマートフォン・フィーチャーフォンなどの端末種別を問わず、通話料金の公私分計が可能

「050 plus W-mode」は、スマートフォンでもフィーチャーフォンでも携帯電話料金の公私分計ができるため、社員の私有携帯端末の種別を問わず BYOD を導入することができます。スマートフォンで利用する場合は、アプリを使って簡単にビジネス通話に切り替わり、フィーチャーフォンで利用する場合は、通話相手先の電話番号に「003543」を付けてダイヤルするだけで、簡単にビジネス通話を発信できます。これらのビジネス通話料金は、まとめて会社に請求されます。

(2)通話相手に 050 番号を通知することで、社員のプライバシーに配慮

私有携帯電話からビジネス通話を発信する際に、私有携帯の電話番号ではなく、ビジネス用の 050 で始まる IP 電話番号を発信者番号として通知することができます。

(3)スマートフォンでは、利用シーンに応じて「IP 電話モード」と「携帯電話モード」を選択可能

スマートフォンからビジネス通話を発信する場合、利用シーンや電波状況に応じて、通話料金が安い「IP 電話モード」と通話品質が高い「携帯電話モード」を選択できます。

3. 料金

月額基本料				525 円(税込)/ID ※1
工事料				1,050 円(税込)/ID ※1
通話 料金 ※2	スマートフォン	IP 電話 モード発信	NTT Com が提供する IP 電話 サービス「Arcstar IP Voice over Universal One」、無料通話先 プロバイダ、および、 「ひかりライン」への通話	無料
			固定電話への通話	8.4 円(税込)/3 分
			携帯電話への通話	16.8 円(税込)/分
	スマートフォン/ フィーチャーフォン	携帯電話 モード発信	固定電話への通話	21 円(税込)/分
			携帯電話への通話	31.5 円(税込)/分

※1 2012 年 11 月 21 日以降にお申し込みいただき、2013 年 3 月 31 日までに開通した ID については、開通月とその翌月の月額基本料と工事料を無料とするキャンペーンを実施します。

※2 050 番号への着信を 080 や 090 で始まる携帯電話番号で受信する場合、別途転送料金が必要です。転送時の料金は、IP 電話モード発信時の通話料金と同一となり、050 plus W-mode をご契約いただく企業に課金されます。

4. 提供開始日

2012 年 11 月 21 日(水)

5. 「050 plus for Biz」の既契約者の変更申し込み

「050 plus for Biz」をご利用中のお客さまは、別途お申し込みいただくことで、「050 plus W-mode」への変更が可能です。

別紙 050 plus W-mode導入イメージ

私有携帯電話を業務に活用するBYOD(Bring Your Own Device)を導入すると、以下の効果があります。

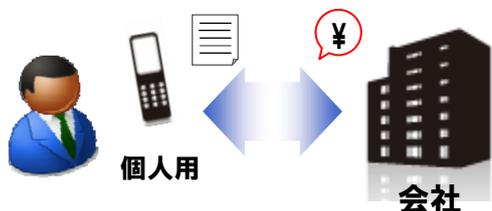
携帯電話の基本料削減

携帯電話を2台持たなくて済む

携帯電話端末の費用削減

会社賞与からBYODへ

しかし、私有携帯電話を業務利用する場合、課題が残ります。



通話料金の精算処理が煩雑

個人の携帯電話番号が相手に通知されてしまう

社員が費用負担

050 plus W-modeで
課題解決

「050 plus W-mode」を導入することで、これらの課題を解決することができます。

<サービスイメージ>

社員の個人携帯
+
050 plus W-mode



スマート
フォン
以外でも
利用可

ビジネス通話 050番号(ビジネス用)を表示

請求は会社へ

¥

IP電話モード

通話料金が安価

利用シーンや電波状況
に応じて選択

携帯電話モード

通話品質が高い



お客様、取引先
所属の会社など

プライベート通話

携帯電話番号を表示

これまで通り使えます



家族、友人など